

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「高峰高原星まつり～長寿県で長寿星（カノープス）を見よう」事業
事業主体 (連絡先)	浅間・高峰観光協議会 (0267-23-3124)
事業区分	(6) ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,979,820 円 (うち支援金：2,234,000 円)

.....

..... 地元の子供たちを対象に、
 星空プロジェクトの一環として、高峰高原の魅力の一つ
 である星空、「星の聖地」をPRしていくため、南の地平
 線、水平線が見渡せる場所でしか見られない全天で2番
 目に明るい星「カノープス」が唯一この地域では高峰高
 原からみられると言うことを大勢の方々に知ってもらい、
 佐久地域の星空、高峰高原の星空は唯一無二の星空であ
 ること、昼間のアクティビティだけではなく夜も楽しめ
 ることをPRし、将来的に滞在時間の増加を図るため星
 空列車の運行、星まつり（カノープス観望会）を開催し
 ました。

【星空列車「特急あさま」】



10月17日の夜中にしなの鉄道との連携により小諸駅～軽井沢駅の間で星空列車を運行、
 途中平原駅に1時間30分停車し星空観察会を開催した。18日、19日でカノープスをメ
 インとする星まつりを開催し、昼間は山ガールトークショーや子供クラフトコーナーなどを
 開催し、夜19時から天文台を使って星空観察会及びカノープス観察会を開催しました。
 17日から22日までカノープス観望会を開催し大勢の方に楽しんでいただいた。

大平技研のメガスターによるプラネタリウムの上映会を予定していましたが、御嶽山の噴
 火の影響により、精密機器なので火山灰に弱いということがあり、浅間山のすぐ隣と言うこ
 とから今回は見送らせてほしいということで中止となりました。

事業効果

星空列車の運行により、首都圏のお客様及び地元の
 方々が大量参加(231名)していただき、小諸、軽井
 沢間の夜空の素晴らしさを十分にPRでき、地元の方々
 には地元から見える星空を再認識していただけました。

高峰高原での星まつりについては、昼間はクラフトな
 どの工作教室や山関係のトークショーや発表会を行い
 大勢の方々に高峰高原の昼夜を問わない楽しみ方が
 PRできました。

夜のカノープス観望会では述べ200名ほどの方が参
 加し、18日、19日の朝方は天気がよくカノープス
 ほか満天の星空で、参加者の方々は十分に満足し、曇
 天時でもスライドショーや天体望遠鏡の話などで盛り
 上がり、年間を通したリピート増加に期待が持てまし
 た。

【目標・ねらい】

- 高峰高原の新たな魅力のPR
- 星空観察による滞在時間の増
加、宿泊客数の増加
- 郷土愛の醸成
- 環境保全意識の向上

※自己評価【 A 】

【理由】

星列車については、お客様、周辺住
 民、スタッフとも大変好評であり来
 年度も是非実施の方向でと言う言葉
 を多く聞いたことと、高峰の星空を
 多くの方に見ていただき、星の高原
 のイメージが出来たことが評価され
 る

(別記様式第12号) (第3の8関係)

カノープスを謳い文句としていましたが、高峰に訪れた多くの方々はカノープスが見られなくても、他では見ることのできない満天の星空に感動していました。

今後の取り組み

今回のイベントで参加者の方々と話をする中で、高峰高原での星空観察や星のイベントについて、今後の訴求要件の大きなポイントとして期待できることと、確実に宿泊につながり滞在時間の増加に大きく期待できる結果となりました。今後は星空列車については小諸市観光協会に引き継ぎ、星空イベントについては旅行エージェントとの連携を視野に浅間高峰観光協議会として継続して実施していきたいと考えております。今後は来訪するすべてのお客様に各宿泊施設で星空等が案内できるよう星空案内人の育成等が急務であると考えます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある